

**「衛星データ×自治体 DX -日本版 GPS『みちびき』で地域課題解決の最前線へ-
ライブビューイング in 福井大学」開催報告**

「ふくい宇宙産業創出研究会」では、県内企業の宇宙産業への参入支援を行っています。その一環として、研究会会員企業であるジビル調査設計が「みちびき企画実証」を行っており、同社の取り組みには内閣府の準天頂衛星システム「みちびき」およびその測位信号が活用されています。

このたび、「みちびき」の最新動向や、自治体における活用事例を紹介する準天頂衛星システムサービス(株)主催のセミナーが開催され、その中でジビル調査設計の取り組み内容および福井県の宇宙産業支援について発信する機会がありました。

オンラインでの視聴が可能であったことから、研究会会員企業と意見交換をしながら視聴できるよう、北陸未来共創フォーラム(北陸の産学官金プラットフォーム)と連携し、本県の宇宙産業支援を広く周知することを目的として、福井大学にてライブビューイングを実施しましたので、以下のとおり報告します。

**「衛星データ×自治体 DX -日本版 GPS『みちびき』で地域課題解決の最前線へ-
ライブビューイング in 福井大学」概要**

日時:令和 8 年 1 月 19 日(月) 14:00~17:00

場所:福井大学 遠赤外領域開発研究センター 5 階コロキウム室

参加者:7 名

主催:北陸未来共創フォーラム

協力:ふくい宇宙産業創出研究会

内容:

第 1 部 「みちびき」活用セミナー ライブビューイング 14:00~16:20

インプットセッションでは、「みちびき」に関する最新の取り組みや、衛星測位データ活用事例の紹介がありました。続くパネルディスカッションでは、「みちびき」導入時の課題とその解決方法、さらに自治体導入によって得られた効果などについて、活発に意見交換が行われました。

これらのセッション内で、福井県の取り組み紹介が求められたため、以下の内容について情報提供を行いました。

1. ジビル調査設計が「みちびき企画実証」で実施した研究事業の紹介
2. ふくい宇宙産業創出研究会が支援した研究体制の構築と、研究会会員企業による連携内容の紹介

これらを通じて、福井県の取り組みを県外に向けて発信することができました。

第 2 部 宇宙・衛星産業に関する情報・意見交換会 16:30~16:50

福井大学 遠赤外領域開発研究センター長・教授 谷正彦氏

北陸未来共創フォーラムおよび福井大学の戦略的・イノベーション創出環境強化事業「ふくい宙(そら)クロスイノベーション拠点」について紹介がありました。その後、参加者による自己紹介や情報交換が行われ、今後の連携の可能性について意見が交わされました。



「日本版 GPS『みちびき』で地域課題解決の最前線へ ライブビューイング in 福井大学」の様子

問い合わせ先:ふくい宇宙産業創出研究会事務局 (福井県工業技術センター)根尾
電話:0776-55-0664 E-mail:f-space@pref.fukui.lg.jp